

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県海南市 海南医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	対象	ド訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
47,158	10,377	非該当	非該当	7：1

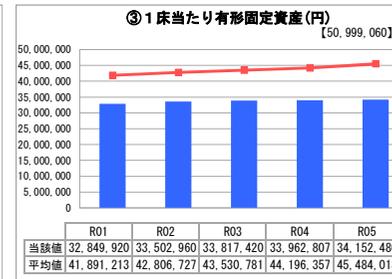
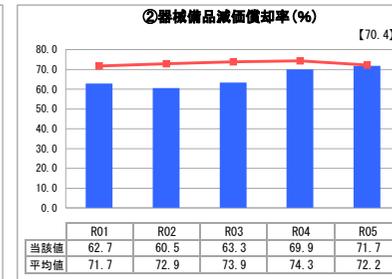
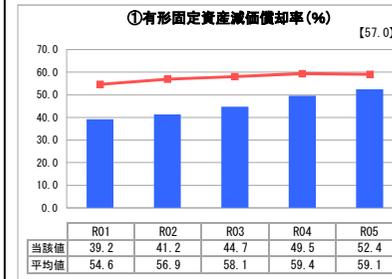
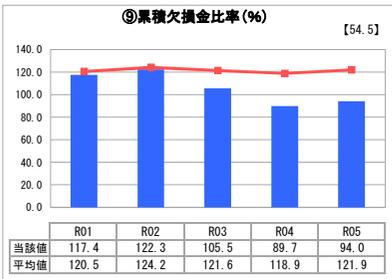
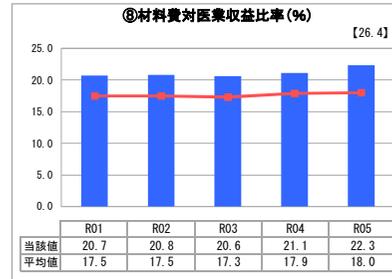
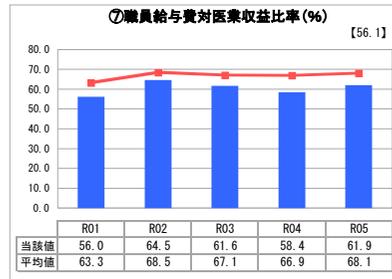
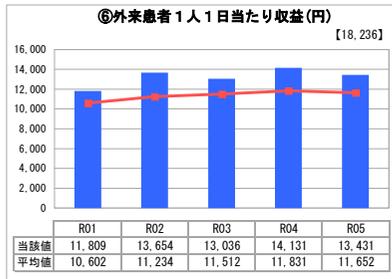
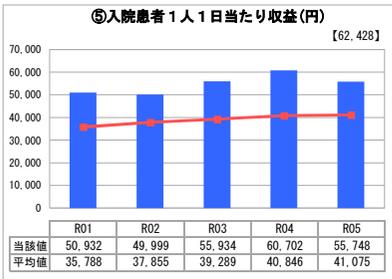
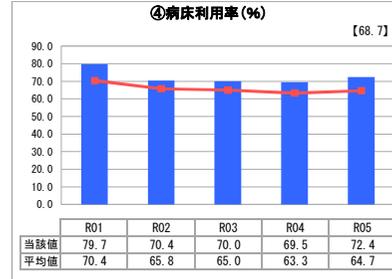
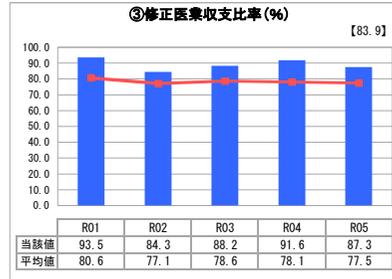
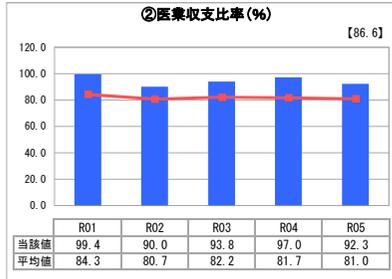
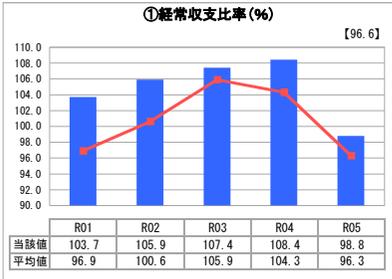
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
150	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
141	-	141

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦割・ネットワークを軸に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

救急医療・小児医療の役割を担っており、救急の受入体制の強化のほか、地域医療機関との連携強化により紹介・逆紹介の促進や適切な入院支援に努めている。  
また、これまでもCOVID-19への対応についても重点医療機関としての入院患者受入や診療・検査医療機関として発熱者の対応等に当たってきた。令和5年5月8日付での感染症法上の位置付け見直しに伴う一般医療での受入移行について、柔軟に対応してきた。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益は入院・外来ともに患者数は前年度を上回ったが、COVID-19入院患者への診療報酬上の特例的な引上げ措置の終了や感染対策に対する加算が縮小されたことなどから、患者1人1日当たりの収入及び、病床確保事業補助金などの補助金収入が減額となったことも影響し、事業収益は前年度を下回った。費用では診療材料の高騰や患者数の増加、各種コストの高騰に伴い、材料費や経費が増加し、事業費用は、前年度を上回る結果となった。経常収支については、経常損失は47,291,917円、経常収支比率は98.8%となり、過年度収支修正損12,266,000円を含め純損失は59,517,917円となった。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年3月に新築移転、有形固定資産全体での減価償却率は類似病院平均値を下回る状況が続いている。器械備品では令和元年度に比較的高額の設備更新を行ったことで減価償却率が類似病院平均値を下回り、以降も継続。器械備品では今後、更新時期を迎えるものも出てくるが、負担の平準化や経営状況などを勘案しながら、計画的な設備更新を進めていく予定。

## 全体総括

令和5年度は、入院・外来収益及び国県補助金の受け入れ等が前年度比で減収、費用も増加したこともあり、経常収支は赤字となった。

令和6年度においては医師の時間外労働規制が適用開始となり、今まで以上に医療人材の確保、育成が重要になってきている。加えて、今回の診療報酬改定により、より重症度の高い患者への対応実績が求められるなど、当院のような中小規模の急性期病院にとって、厳しい内容となっている。

今後も引き続き、地域医療機関との連携強化や救急受入体制の強化等により収益増を図りながら、計画的な設備投資や補助制度等の活用により企業価値増や減価償却費負担の低減・平準化を図り、安定的な病院運営を目指す。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。